

## プログラムにおける発表演題についてのQ&A

---

Q1.現在都市部の病院で勤務していますが、定年後は医療過疎化の地域への転職も視野に入れて転職を考えています。その際に特定行為研修修了者のニーズをどのように把握したらよいかアドバイスがあればお願い致します。

➤まずは、特定行為研修修了者がすでに活動されている施設を探した方が目的に叶うのではないかと考えます。「看護師の特定行為研修制度ポータルサイト」に修了者の情報がありますのでご参照ください。

<https://portal.tokutei-nurse-council.or.jp/graduates/>

---

Q2.同意書の取得方法や状況、手順書の取り扱い方についてご教示ください。

➤同意書の取得状況や方法は、①包括的同意取得、②個別に同意を取得のいずれかではないでしょうか。①の場合は、院内の掲示や案内文書に情報を記載し、同意しない場合は医療者に伝えていただくなどの方法があると思います。②の場合は、文書を用いて個別に同意を取得する方法です。ただし、同じ行為を医師が実践する際に同意書を取得していない行為に関しても同意書が必要かどうか、組織内でルールが必要であると考えます。

---

Q3. 在宅での取り組みとしまして、地域で行っておられる活動がありましたら参考にさせていただきたいです。

➤「看護師の特定行為研修制度ポータルサイト」に修了者の情報がありますのでご参照ください。また、インターネット上でも、「特定行為」、「在宅」、「実践」をキーワードとして検索すると情報が得られると思います。

---

Q4. 特定行為看護師の実践数について→部署や立ち位置によって実践数にバラつきはありませんか。

➤特定行為看護師の実践には、組織としての理解や支援が欠かせません。「特定行為研修修了看護師の組織的配置・活用ガイド」をご参照ください。

[https://www.n.chiba-u.jp/iperc/research/files/completion\\_guide.pdf](https://www.n.chiba-u.jp/iperc/research/files/completion_guide.pdf)

---

Q5. 一般病棟においての特定行為実践につなげる関わりについて伺いたいです。

➤「特定行為研修修了看護師の組織的配置・活用ガイド」をご参照ください。

[https://www.n.chiba-u.jp/iperc/research/files/completion\\_guide.pdf](https://www.n.chiba-u.jp/iperc/research/files/completion_guide.pdf)

また、看護師の特定行為研修の修了者に関する「医師との協働の事例集」も参考になるかと思えます。

<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001095529.pdf>

---

---

Q6. 医師と協働していくためにシフト調整や周囲のスタッフの理解など、どのように得ていったのでしょうか？スタッフへの働きかけなど工夫がありましたら知りたいです。

➤ 「特定行為研修修了看護師の組織的配置・活用ガイド」をご参照ください。

[https://www.n.chiba-u.jp/iperc/research/files/completion\\_guide.pdf](https://www.n.chiba-u.jp/iperc/research/files/completion_guide.pdf)

また、看護師の特定行為研修の修了者に関する「医師との協働の事例集」も参考になるかと思えます。

<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001095529.pdf>

---

Q7. 活動時間の確保について知りたいです。

➤ 「特定行為研修修了看護師の組織的配置・活用ガイド」をご参照ください。

[https://www.n.chiba-u.jp/iperc/research/files/completion\\_guide.pdf](https://www.n.chiba-u.jp/iperc/research/files/completion_guide.pdf)

また、看護師の特定行為研修の修了者に関する「医師との協働の事例集」も参考になるかと思えます。

<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001095529.pdf>

---

Q8. 急性期病院の取り組みのなかで、脱水時の補液や高カロリーーの流量調整がされているのであれば、どのようにされているのか知りたいです。

➤ 公益社団法人 日本看護協会の HP に認定看護師の実践事例が掲載されています。

<https://www.nurse.or.jp/nursing/cn/case/pdf/casestudy01.pdf>

一般社団法人 全国訪問看護事業協会の HP に事例が記載されています。

<https://www.zenhokan.or.jp/tokutei/casestudy/>

ご参照ください。

---

Q9. 気管カニューレや胃ろうについて、各種メーカーや種類によっての特徴が知りたいです。例えば、胃ろうだと、患者が片手で蓋を開けられるタイプはどれなど。

➤ メーカーもしくは担当医にご確認ください。

---

Q10. PICC を透視下で留置する際に、医師が同席や照射の指示をしているか。PICC 留置の包括的指示として看護師と放射線技師のみで行なっている施設はあるか。

➤ 特定行為を実践する際、安全に配慮して実践することが最も優先されると考えます。施設内で医師不在で実践を許容するかどうか、まずはご判断ください。施設毎に安全に配慮して、体制を検討すべきと考えます。